



A. Takeda

## THE MAINICHI HAI

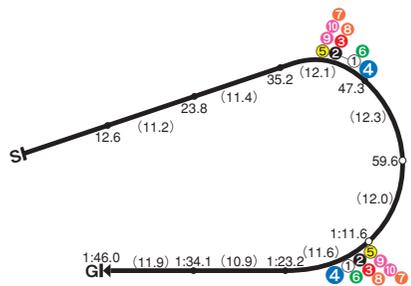
## 第71回 毎日杯 (GIII)

1着 賞 41,000,000円 2着 賞 16,000,000円 3着 賞 10,000,000円 4着 賞 6,200,000円 5着 賞 4,100,000円  
 本加賞 357,000円 102,000円 51,000円



レース映像は  
 コチラでご覧  
 いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬  
 負担重量 馬齢重量



2024.3.23 阪神 曇・重 芝1800m (国際) (特種)

順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 600m (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	メイショウタバル	牡	3	57	坂井瑠星	1:46.0	1-1	34.4	500(±0)	9.4⑤	石橋 守(栗東)	113
2	①	ノーブルロジャー	牡	3	57	川田将雅	6	2-2	35.3	478(-6)	2.9①	吉岡辰弥(栗東)	102
3	⑦	ベラジオポンド	牡	3	57	岩田望来	クビ	4-4	35.1	478(+2)	7.9④	上村洋行(栗東)	101
4	⑦	ファヴेंट	牡	3	57	松山弘平	1 1/4	7-7	35.2	502(-2)	13.5⑦	藤原英昭(栗東)	99
5	⑧	スマートワイズ	牡	3	57	武 豊	ハナ	4-4	35.3	476(±0)	20.0⑧	大久保龍志(栗東)	
6	⑨	サトノシュトラーク	牡	3	57	藤岡康太	ハナ	7-7	35.1	516(+10)	7.7③	友道康夫(栗東)	
7	②	ルシフェル	牝	3	55	B.ムルガヒフ	2 1/2	4-4	35.7	484(±0)	10.1⑥	斉藤崇史(栗東)	
8	⑩	ニュージーズ	牡	3	57	C.ルメル	3 1/2	7-7	36.1	490(+2)	3.5②	木村哲也(美浦)	
9	⑤	ナイトスラッガー	牡	3	57	池添謙一	1 1/4	2-2	36.8	518(-6)	56.6⑩	小栗 実(栗東)	
10	⑥	トラジェクトワール	牡	3	57	西村淳也	アタマ	7-7	36.3	470(-4)	46.8⑨	尾関知人(美浦)	

単勝④940円(5%) 複勝②250円(5%) ①130円(1%) ③230円(4%) 枠連①-④1,220円(4%)  
 馬連①-④1,360円(4%) ワイド①-③450円(4%) ③-④770円(10%) ①-③450円(3%)  
 馬単③-①2,830円(11%) 3連複①-③-④2,550円(6%) 3連単④-①-③18,880円(60%)

通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m  
 35.2 - 47.3 - 59.6 46.4 - 34.4

### アラカルト

- ・坂井瑠星騎手は毎日杯初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算16勝目
- ・石橋守調教師はJRA重賞初勝利
- ・ゴールドシップ産駒はJRA重賞通算9勝目
- ・6馬身差での勝利は、66年アポオンワード、87年ダイゴアルファ、01年クロフネの5馬身差を更新する本競走の最大着差優勝記録

# メイショウタバル *Meisho Tabaru*

牡 鹿毛 2021.4.20生  
 北海道浦河町 三嶋牧場生産  
 馬主・松本好雄氏 栗東・石橋守蔵舎  
 馬名意味・冠名+熊本県の地名

サイレーシUSA系 F8-h

ゴールドシップ 芦毛 2009	ステイゴールド 黒鹿毛 1994	サンデーサイレンスUSA ゴールデンサッシュ
	ポイントフラッグ 芦毛 1998	メジロマックイン バストラリズム
メイショウツバクロ 鹿毛 2010	フレンチデピュティUSA 栗毛 1992	Deputy Minister Mitterrand
	ダンシングハビネス 黒鹿毛 1999	ダンスインザダーク メイショウサチカゼ

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M4

## INTERVIEW

三嶋健一郎氏(三嶋牧場)

### 最後まで押し切ったレースぶりに驚きました

アクシデントがありましたので少し心配しながらレースを見ましたが、最後まで押し切ったレースぶりに驚きました。石橋調教師がよくここまで仕上げてくださいました。母はダートで活躍したので、芝の長い距離をこなせる仔が出てくれたらという思いでゴールドシップを選びました。松本オーナーの馬でクラシックへ行けることに牧場全体で喜んでいます。

S.Okada



ゴールドシップ産駒の本馬は昨年の暮れ、デビュー3戦目に初勝利を挙げると、アクシデント(右前肢跛行のため若駒Sを競走除外)明けのつばき賞を好時計で連勝。その後の目標に定めたスプリングSも、フレグモーンを発症して参戦を見合わせたものの、仕切り直して臨んだこの日はレース史上最大の着差を記録する見事な圧勝劇を演じた。2度のアクシデントを跳ね返して3連勝。「東上最終便」に乗り込んだ新星が加わり、皐月賞の行方はますます混沌としてきた印象だ。

## 父ゴールドシップ

北海道日高町 出口牧場生産 詳細はP.8参照

## 母メイショウツバクロ

北海道浦河町 三嶋牧場生産 中央12戦1勝、地方1戦1勝

(17 牡父マジステックウオリアーUSA)  
 メイショウメイスイ(18 牡父ノヴェリストレIRE)中央7戦0勝、地方45戦11勝  
 (19 牡父キンシャサノキセキAUS)  
 ミニストリー(20 牡父シニスターミニスターUSA)中央3戦0勝、地方9戦2勝  
**メイショウタバル** 本馬(21 牡父ゴールドシップ)中央5戦3勝(毎日杯<sup>Gm</sup>、つばき賞)獲得総賞金59,417,000円  
 (22 牡父ロジャーパーローズ)  
 (23 牡父ディーマジスティ)

## 祖母ダンシングハビネス

北海道浦河町 三嶋牧場生産 中央1勝

アモーレヴォレ(05 牡父アグネスデジタルUSA)中央2勝、ロン(野路菊S<sup>Op</sup>)、ワールドスケール<sup>Q</sup>(猪苗代特別、唐戸特別)の母  
 マスターコーク(06 牡父フレンチデピュティUSA)中央3勝  
**メイショウカンパク**(07 牡父グラスワンダーUSA)中央6勝(京都大賞典<sup>Gm</sup>、八坂S、不知火特別、柳川特別、福島記念<sup>Gm</sup>2着、新潟大賞典<sup>Gm</sup>3着)  
 メイショウツバクロ(10 前出)  
 メイショウタカトラ(14 牡父アイルハヴアナザーUSA)中央3勝(境港特別、障害1勝、地方2勝)  
 メイショウイフウ(16 騾父アイルハヴアナザーUSA)中央1勝、地方0勝

## 曾祖母メイショウサチカゼ

北海道浦河町 三嶋牧場生産 中央2勝。10年用途変更

ダンシングハビネス(99 前出)  
 メイショウグレイス(02 牡父グラスワンダーUSA)中央1勝、地方1勝

## 母の父フレンチデピュティUSA

北米4勝(ジェロームH<sup>G2</sup>)

[BMS代表産駒] **マカヒキ**(日本ダービー<sup>G1</sup>、父ディーブインパクト)、**ショウナンパンドラ**(ジャパンC<sup>G1</sup>、父ディーブインパクト)、**レインボーライン**(天皇賞(春)<sup>G1</sup>、父ステイゴールド)、**ゴールドドリーム**(フェブラリーS<sup>G1</sup>、父ゴールドアリユール)、**マルシュロレーヌ**(BCディスタフ・米<sup>G1</sup>、父オルフェヴル)、**マイネルホウオウ**(NHKマイルC<sup>G1</sup>、父スズカフェニックス)

## レース史上最大、6馬身差の圧勝劇

2021年のシャフリヤールをはじめ、最近3年間の優勝馬はいずれもここからダービーへ直行。ゆったりと間隔を開いて目標のレースに臨む傾向が強まった近年、毎日杯は「冠目へのステップ」との色合いが濃くなっている。しかし今年の前週のスプリングSからスライドしてきた関西馬メイショウタバルが圧勝。レース後には皐月賞への参戦も決まり、かつては「東上最終便」と呼ばれた一戦から強力な新星が名乗りをあげた。

朝から降り続く雨のなか、五分のスタートを切ってスピードに乗り、先手を主張したのがメイショウタバルと坂井瑠皇騎手のコンビだった。互角の勢いで飛び出した1番人気馬、新馬、シザン記念と2連勝中のノーブルロジヤールは、緩みのないラップを刻んで飛ばす逃げ馬を先に遣り、2番手で折り合いに専念。対して2、3番人気に支持された2頭、新馬戦を5馬身差で圧勝したニュージーズと京都2歳Sの3着馬サトノシュトラレーセは、馬群の後方で末脚勝負に構えた。

その2頭を含めた後続は早めに追撃にかかって前に迫り、4コーナーで馬群は一同に。しかし直線に向けて坂井騎手が仕掛けると2番手以下は突き放され、たちまちリードが広がる。ラスト2ハロン目のラップは10秒9。ぬかるんだ馬場(重)に非凡な数字を刻み、独走態勢を築いたメイショウタバルが2着は死守したノーブルロジヤールに6馬身差をつけ、ワンサイドの勝利を飾った。

ゴールドシップ産駒の本馬は昨年の暮れ、デビュー3戦目に初勝利を挙げると、アクシデント(右前肢跛行のため若駒Sを競走除外)明けのつばき賞を好時計で連勝。その後の目標に定めたスプリングSも、フレグモーンを発症して参戦を見合わせたものの、仕切り直して臨んだこの日はレース史上最大の着差を記録する見事な圧勝劇を演じた。2度のアクシデントを跳ね返して3連勝。「東上最終便」に乗り込んだ新星が加わり、皐月賞の行方はますます混沌としてきた印象だ。